

## 地域の重点プロジェクト

山城地域においては、人口増加と人口減少に直面する都市と農村が隣接する特徴ある地域構造をいかし、大学や研究機関の集積を都市発の科学技術による農業の ICT 化等地域活性化に活用するとともに、農家民宿の開設や週末居住を促進し、都市と農村が共存する地域を構築します。また、京都第二外環状道路（にそと）が開通し、今後は新名神高速道路の全線開通や JR 奈良線の高速化・複線化第二期事業が進むなど、関西の交通の結節点として重要な役割が期待されていることから、これらをいかした地域振興のため、「山城にぎわい創造プロジェクト」に取り組みます。

また、府域の地域特性や資源をいかした戦略的な施策を推進する重点プロジェクトとして、平成 23 年度から「宇治茶の郷づくり構想」をはじめ 14 の「みやこ構想」に、平成 24 年度からは「海の京都」に取り組み、平成 26 年度から「お茶の京都」と「森の京都」がスタートしたところであり、これらのプロジェクトを進めることにより、北から南までの豊かな自然や長い歴史に磨かれた「本物」のすごさをいかしたスケールの大きな交流を展開するとともに、平成 27 年度から新たな「みやこ構想」として「京都乙訓ダイナミックシティーズ構想」に取り組むこととしています。

これらのうち「お茶の京都」をはじめ山城地域を対象エリアとするものについては、本計画の重点プロジェクトとしてその実現に向けて取り組んでいくこととします。

### ◇山城にぎわい創造プロジェクト

関西の交通の結節点として重要な役割を担うことが期待される山城地域において、交通インフラを活用した企業誘致、「お茶の文化」や「祈りの文化」などをテーマにした観光振興、宇治茶や特色ある農産物をいかした農業振興などの施策を展開することにより、にぎわいを実感できる地域づくりを進めます。

### ◇「お茶の京都」づくり

山城地域は、茶生産地として最も長い歴史を有し、素晴らしい景観を形成するとともに、現在も最高品質の緑茶の産地であり、これまで進めてきた「宇治茶の郷づくり」や世界文化遺産登録に向けた取組を進展させ、「宇治茶かおり回廊」の整備などにより、生産振興、消費拡大、地域活性化を総合的に進める「お茶の京都」づくりをめざします。

### ◇京都乙訓ダイナミックシティーズ構想

乙訓地域 3 市町の都市連携により、観光、産業等の高次都市機能を集積させ、京都府の新たな成長核としてダイナミックに発展する地域を創出します。

### ◇京都イノベーションベルト構想

地域の企業間の連携を進め、高度な技術と国際的な競争力を備えた製品開発などを重点的に支援し、京都経済の牽引エリアとしての一層の成長を促進します。

### ◇学術研究・未来の都構想

関西文化学術研究都市において、世界レベルの情報や環境、健康（医療）、農業（食）などに関する科学技術の粋を結集し、科学技術と生活文化が融合した新たな都市を創造します。

### ◇環境・アグリバイオパーク構想

関西文化学術研究都市において、環境・アグリバイオの研究拠点を整備し、関連する研究機関や研究開発型産業施設が集積する国際研究開発拠点を形成します。